

語調にみなぎった、幼児への愛情と幼稚園への熱意とは、いつまでも私をばげましむちうつものとして、残るであろう。

(岡山大学教育学部長)

倉橋さんを憶う

下村 壽一

確か昨年春頃であったと思うが、ゆくりなく浅草の地下鉄の中で倉橋さんにお目に懸った。久し振で観音様に詣り、戦後の浅草の風物を瞥見して面白かったと語られ、四方山の話をお別れした。健康も充分回復され、悠々自適して居られる模様を見て安堵もし嬉しくも思うた。その後研究も執筆も続けられ、最近では「子供讃歌」を編述され一本御寄贈に預ったが、今となってはこの本は、倉橋さんが若い学生頃から子供の問題に取組んで一生苦勞をされた記念塔となつて仕舞つたのは悲しいことである。倉橋さんは円融無礙

懇切周到・機智縦横・八面玲瓏最も洗練された紳士の好典型であつた。教育者として傑出し、殊に児童保育の問題に付ての最高権威であつたことは今更申述べるまでもない。昭和四年文部省に始めて社会教育局が設けられ、社会教育官の新官制の出来たときに、私は無理にお願して兼任社会教育官になつていただき、新らしい社会教育の建設に対して色々と御骨折を願つたが、該博な識見と豊かな体験に基いて、何時も建議し示唆を与えて呉れられたことを今も猶頗多としている。其後昭和十年東京女高師に職を奉ずることとなつたが、在職期間の大半は支那事変に続く大戦争で、誠に多事多難をきわめた。此の間倉橋さんは幹部教授中の重立つ一人として、学校の管理運営・生徒の教育指導万般に互つて悉く参劃し、実際に行届いた世話をされ、真に己を忘れて学校の為に尽された功績は言葉には尽し難いものがあつた。私は倉橋さんから助けられたり、教益を蒙むるのみであつたことを追憶し、今となっては唯々御冥福を祈るのみであることを悲しく思うのである。

(元お茶の水女子大学長)

× × ×